

夢じゃーなる



Vol.

27

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



多世代交流“じばヤング”グループ



ふれいあいと夢の「わ」グループ



助け合いの輪グループ



水グループ



緑の環境会議グループ



らぼ・環境実践グループ



絆の森プロジェクトグループ



であいたいグループ



シンボルプロジェクトグループ

～第6期阪神北地域ビジョン委員会の2年間をふりかえって～

目次

- ◆ 阪神北地域ビジョン委員会の概要、各活動グループ編成一覧 …… 2
- ◆ 専門委員等メッセージ …… 3
- ◆ グループ活動総括【第6期での活動をふりかえって】 …… 4～12
- ◆ 地域夢会議報告 …… 13
- ◆ 全体活動報告 …… 14
- ◆ 第6期ビジョン委員会活動年表、広報部会から …… 15
- ◆ 第6期阪神北地域ビジョン委員等名簿 …… 16

阪神北地域ビジョン委員会の概要

平成13年に、美しい兵庫をめざす「21世紀兵庫長期ビジョン」の一環として、地域の将来像を描く阪神地域ビジョン「阪神市民文化社会ビジョン」を策定し、「新しい公」の時代をめざして、基本理念と4つの行動目標を定めました。続いて、新設の阪神北県民局のもとで、ビジョンの実現へ向けて、阪神北地域ビジョン委員会が発足しました。その後10年が経過し、私たちの地域を取り巻く環境が大きく変わってきたため、阪神南地域ビジョン委員会と共に地域ビジョンの見直しを行い、平成23年10月に「阪神市民文化社会ビジョン」改訂版が策定されました。

地域ビジョン委員会は、県民の参画と協働により、ビジョンを実現するために設置される組織であり、兵庫県知事の委嘱を受けた、任期2年の委員によって構成されています。平成13年に第1期がスタートし、平成24年4月には第6期地域ビジョン委員として、64名の委員が就任しました。第6期の委員は9つの実践活動グループに分かれ、目指すべき兵庫の姿の実現に向け、それぞれが実践活動に取り組みました。

ビジョン委員会の歩み

平成13年2月 地域ビジョンの策定
平成13年4月 阪神北県民局の設置
平成13年9月 地域ビジョン委員会の発足
平成23年10月 「阪神市民文化社会ビジョン」の改訂
平成24年4月 第6期地域ビジョン委員会の活動開始

ビジョン委員会の組織

委員長、副委員長
専門委員、アドバイザー、オブザーバー
全体会、企画調整部会、広報部会
実践活動グループ
(事務局) 阪神北県民局県民協働室ビジョン課

行動目標の分野と活動グループの編成

グループ名	活動目標
第1分野「多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会をつくる」	
1 多世代交流「じばヤング」	「世話焼き」の育成と「昔の遊び」による交流広場の提供
第2分野「自律と協働による温かいコミュニティをつくる」	
2 ふれあいと夢の「わ」	地域に感動の“きづな”をつないでいきたい
3 助け合いの輪	まちづくり事例集の作成と情報発信
第3分野「自然と豊かに調和した安全・快適な都市環境を創造する」	
4 水	身近な猪名川流域と武庫川流域の水環境をとことん探究する
5 緑の環境会議	緑を知り、緑を育てる
6 らぼ・環境実践	ごみ減量作戦・ダンボールコンポストでつながる絆
第4分野「豊かさにとぎわいを創出する新たな阪神経済を展開する」	
7 絆の森プロジェクト	地域の人財や地域資源を掘り起こし、ホームページで紹介する
8 であいたい	地域の自然や文化、歴史を掘り起こし、地域の活性化に寄与する
シンボルプロジェクト「地域の愛着を深めるとともに、地域課題に対応する担い手を発掘する」	
9 シンボルプロジェクト	成熟した市民力による地域の活性化と地域の魅力の発信

ごあいさつ

私たち6期ビジョン委員会は「阪神市民文化社会ビジョン」を命題としました。各地域に入り、人々の様子を知り、その地域の課題を考え、行政と共に地域の発展に貢献することをめざしてきました。

平成25年6月には猪名川町・川西市・伊丹市を巡り、9月には宝塚市・三田市を巡りました。その土地に行き、その土地の人々の話を聞いて地域の魅力を知ることが出来ました。

例えば、西谷のダリア栽培の話には感動しました。荒れた土地にも合うダリアの球根を植え、苦労や経験を重ねてそれが地域の特産物となり、アメリカまで輸出するほどに生産が盛んになって地域を潤した話です。★伊丹の酒づくりのこと。★川西市の大阪青山歴史文学博物館の書物等の収集。★猪名川町の多田銀山のこと。★広大な三田市の有馬富士公園の施設。私たちは各地域にある魅力ある歴史・文化を知りました。そして、私たちは積極的に地域の行事に参加し、協働しております。

私たちの住む町の歴史・文化を大切にしながら、安心して住めるまちづくりをめざして、今後も努力していきたいと思えます。

今後ともビジョン委員会へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第6期阪神北地域ビジョン委員会委員長 内堀 克子



専門委員メッセージ

大手前大学 現代社会学部 准教授 芳田 茂樹

第6期のビジョン委員会は、平成23年に改訂された「阪神市民文化社会ビジョン」を基に制定された4つの行動目標を達成するために、各グループの特色を活かしながら積極的に活動されてこられたことと思えます。

変化が早く多様化した現代社会において、地域の特色を活かした魅力あるコミュニティを創造していくには、現状を把握する「分析力」、みんなで力を合わせる「チームワーク」、計画を形にする「行動力」、そして何より地域を愛する「地域愛」が、大きな市民(活)力になるのだらうと思えます。

どうか、第6期ビジョン委員会での活動をそれぞれの地域活動に活かされることを祈念しております。



兵庫県立人と自然の博物館 研究員 上田 萌子

平成25年度より、専門委員を務めさせていただくことになりました。まだ熟知できていない部分は多いのですが、阪神北地域では、コミュニティ形成や自然環境など多岐にわたる活動グループが活躍されていることを知りました。第6期ビジョン委員会の2年間の活動が、一区切りを迎えようとしています。これまでに蓄積された活動成果は、着実に地域の中に浸透し、地域の魅力や絆の形成に寄与していることと思えます。これらの成果やふりかえりから見えてきた課題をふまえ、次期ビジョン委員会の活動が、阪神北地域のさらなる発展につながることを期待しています。



関西学院大学大学院 総合政策研究科 教授 今井 一郎

今期(第6期)ビジョン委員会における委員の皆さまの活躍ぶりには何度も目を見張りました。2年間お疲れ様でした。個々人の持つパワーが結集することにより、人数の総和を越える力が発揮される様を拝見し心強く思いました。

これからは、今期の活動で得られた成果を、家庭に止まらず地域における活動に生かせるかどうかが問われることとなります。自己満足の活動ではなく、地域のグローバル化(または国際化)に対応できる策を練り上げることが求められるのです。そして、少子高齢化時代の中で、世代間の連携について適切な政策を立案することが喫緊の課題になっています。次期(第7期)ビジョン委員会でどう展開していくかが楽しみです。

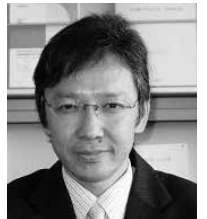


神戸国際大学 経済学部 教授 滋野 英憲

第4グループ第6期ビジョン委員の皆さんは、阪神間における「人財」発掘に取り組まれ、地域に稀有の人々をより広い地域の方々へホームページを通じて紹介されました。

また、地域に眠る歴史と建造物をめぐる企画に多くの参加者を募り地域交流に貢献されてきたことはとても価値のあることだと思います。

これまでに知り得ない新たな地域に関する発見を広く知らせる情報発信をされ、地域交流の良い機会を促進する活動を精力的に進められてきたことが、今後さらに拡充され地域の賑わいにつながり経済効果が生まれてくることを期待しています。



県民局長メッセージ

第6期阪神北地域ビジョン委員の皆様、2年間大変お疲れ様でした。

今期の皆様には、平成23年度に改訂した、阪神地域の将来像を描いた「阪神市民文化社会ビジョン」の実現に向けた実践活動に取り組んでいただきました。

「地域夢会議」やシンボルプロジェクトである「地域見本市」をはじめ、それぞれの実践活動グループにおかれまして非常に活発にご活動いただき、ありがとうございました。

来期も地域ビジョン委員を継続される方には、引き続きよろしくお願い申し上げます。

また、今期をもって地域ビジョン委員を退かれる方には、ここでの経験を生かし、それぞれの地域においてご活躍されることを期待しております。

阪神北県民局長 常松 貞雄





多世代交流 “じばヤング”

活動目標

多世代交流の「世話焼き」の育成と「昔の遊び」による交流広場の提供

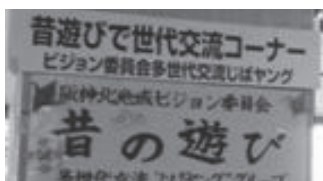
活動内容

多世代交流会

- 平成24年10月7日 西谷会館・夢プラザ(宝塚市)にて「関西学院大学留学生との交流会」
- 平成25年1月24日 大手前大学(西宮市)にて『大学生と語ろう会』
- 平成26年1月23日 大手前大学(西宮市)にて「大学生と語ろう会」



ふれあい実践活動



「昔の遊び」コーナーを設け、牛乳パックを使って、万華鏡・紙コプター・ぶんぶんゴマなど手作りおもちゃを作ったり、竹ぼっくり馬、六角絵本、コマ回しで初対面の人との交流を深めました。

- 平成24年7月21日 三田市「ふれあい七ようまつり」参加
- 平成24年11月3日 「親子で竹ぼっくり馬づくり」みやっこキッズパーク 西宮市
- 平成24年11月10日 大手前大学・学園祭参加 伊丹市
- 平成24年11月11日 地域見本市 パネル展示 川西市
- 平成25年1月26日 「ひょうご“ワイワイ”」県広報テレビ番組収録 宝塚市
- 平成25年7月27日 三田市「ふれあい七ようまつり」参加
- 平成25年11月2日 「ふれあいの祭典」参加 尼崎市
- 平成25年11月9日 大手前大学・学園祭参加 伊丹市
- 平成25年11月23日 地域見本市 パネル展示 伊丹市
- 平成26年1月18日 県民交流広場 じばやん倶楽部 三田市



大手前大学 学園祭



じばやん倶楽部



「ひょうご“ワイワイ”」収録

活動を振り返って

「昔の遊び」を提供しながら、各地の人たちと楽しく交流ができました。若者たち・子どもたちが生き生きと活動する様子を見て「人と人とのふれあい」は大切だと感じました。



ふれあいと夢の「わ」

活動目標

人が集まり支え合う、温かい地域社会をつくる活動をされている方たち、施設などと協力し、地域に感動の“きづな”をつないでいきたい。

活動内容

① 平成24年10月24日	宝塚ほっこり庵	手芸(フクロウ作り)・スリーA認知症予防ゲーム	12名
② 平成24年11月10日 ～11日	アステ川西(地域見本市)	折り紙細工・ウクレレ歌謡・スリーA認知症予防ゲーム	37名
③ 平成24年11月28日	宝塚ほっこり庵	手芸(炭細工)・スリーA認知症予防ゲーム	12名
④ 平成25年1月20日	伊丹阪急4階 (リータの冬フェスタ2013)	工作(牛乳パックの万華鏡)	63名
⑤ 平成25年2月12日	宝塚ほっこり庵	簡単詩吟・スリーA認知症予防ゲーム	10名
⑥ 平成25年3月12日	宝塚ほっこり庵	ウクレレ歌謡・スリーA認知症予防ゲーム	5名
⑦ 平成25年5月31日	チャームスイート宝塚	スリーA認知症予防ゲーム	25名
⑧ 平成25年6月1日	伊丹中央公民館	手芸(靴下ハギレの鍋敷き)	70名
⑨ 平成25年7月7日	伊丹有岡小学校	ペットボトルロケット	120名
⑩ 平成25年7月20日	伊丹有岡小学校	工作(吹き戻し)	100名
⑪ 平成25年9月19日	宝塚ちどり	ウクレレ歌謡	35名
⑫ 平成25年11月16日	伊丹緑ヶ丘公園	工作(牛乳パックの万華鏡)	120名
⑬ 平成25年11月22日	宝塚武庫山なのはな会	スリーA認知症予防ゲーム	12名
⑭ 平成25年11月23日	いたみホール(地域見本市)	靴下ハギレの鍋敷き・コマ作り	30名
⑮ 平成25年11月26日	ケアヴィラ宝塚	スリーA認知症予防ゲーム	30名

*ペットボトルロケットを空高く飛ばそう



⑨

*靴下ハギレの鍋敷き



⑧ ⑭

*スリーA認知症予防ゲーム



① ② ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑬ ⑮

*牛乳パックの万華鏡



④ ⑫

*ウクレレ歌謡



② ⑥ ⑪

活動を振り返って

瞬く間に過ぎた2年間でしたが、そのなかですばらしいメンバーが集まり、15にもおよぶイベントを提供でき、680余名の方々に参加していただき、笑いありズッコケありの楽しく、そして多くの方にふれ合えたことで充実した活動となり、まさにふれあいと夢の「わ」でした。

そして、もっと・もっと温かい地域社会となりますように、「ぐあんばります」他のグループのイベントへの参加も大変有意義なものでした。



助け合いの輪

活動目標

まちづくり事例集の作成と情報発信

活動内容

阪神北4市1町のそれぞれの管内で、地縁型団体（区・自治会）2件程度と、テーマ型団体の2件程度ずつのユニークなまちづくり・コミュニティづくりの事例内容について、A4 2～3枚程度にまとめ、**まちづくり事例集「助け合い暮らしやすいまちづくりのために」**を作成しました。

この事例集を管内に配布し、各地域のまちづくりの参考にさせていただくことを考えています。



- 平成24年7月10日 関係者で活動目標・活動計画線表・調査内容等を協議・決定。
- 8月24日 「伊丹市まちづくり推進課」を訪問し、伊丹市管内での候補団体を聴取。その後ヒアリングを実施。
- 10月5日 「三田市コミュニティ課」を訪問し、三田市管内での候補団体を聴取。その後ヒアリングを実施。
- 平成25年1月11日 「宝塚市市民協働推進課」を訪問し、宝塚市管内での候補団体を聴取。その後ヒアリングを実施。
- 5月24日 「川西市参画協働室」・「猪名川町参画協働課」を訪問し、候補団体を聴取。その後、ヒアリングを実施。
- 7月24日 伊丹市関係の8件について内容を検討・整理しました。
- 2月4日 まちづくり事例集の印刷に関して業者見積りを行いました。
- 12月6日 まちづくり事例集の内容に関するチェックを行いました。

平成26年2月26日 **まちづくり事例集「助け合い暮らしやすいまちづくりのために」**を発行しました。



まちづくり事例集
「助け合い暮らしやすいまちづくりのために」

活動を振り返って

阪神北県民局管内4市1町のコミュニティ担当課のお力を得て、助け合いの輪グループ3人のビジョン委員が選んだ先進事例と思われる中から、2年間の訪問を許す範囲で取りまとめてまいりました。

各地域には先進事例が非常に沢山あることに感心をさせられました。助け合いの輪グループのメンバーは、4市1町のうち3地域の出身者しかいないため、管内の良い事例のほんの一部しか取りまとめる事しかできませんでした。



今後、第7期以降のビジョン委員で本作業を継続して続けられ、より多くの事例を皆さんに紹介されることを願って2年間の反省と感謝で結びます。

ありがとうございました。



水グループ

活動目標

身近な猪名川流域と武庫川流域の水環境をとことん探究する

活動内容

【水質調査】水質調査を行う。データをまとめる。マップを作成する。

平成24年7月18日 夏期の調査として10か所の地点で水質調査。

平成25年1月9日 冬期の水質調査。河川図を作成して調査マップを作成。



【エコバスツアー】武庫川・猪名川を東西に結ぶ北摂里山街道を訪ねる。

平成24年12月4日

武庫川日出坂洗い堰 ⇨ 青野ダム⇨人と自然の博物館(服部保教授の講演)

⇨ 県武庫川上流浄化センター ⇨ 北摂里山街道 ⇨ 県立一庫公園

※美しい自然、豊かな自然、そこにきれいな水が育まれる

【環境講座】「水とその環境を科学すれば」をテーマに講座を開催

講師 國松孝男客員教授(立命館大学総合理工学院理工学部)

平成25年2月9日 「自然の水・森の水」:宝塚市男女共同参画センター

2月16日 「水の利用と水質化学」:宝塚市文化財団会議室



【名水調査】地域の名水を災害時の「避難水」として位置づけ、名水調査を実施。

平成25年5月20日 猪名川町7か所 6月17日 三田市 5か所

7月22日・10月30日 伊丹市 3か所 8月26日 宝塚市 2か所

9月20日・10月30日 川西市 3か所



【水の生態系と生物多様性の探究】

平成25年6月18日

川西市立けやき坂小学校3年生79人と先生・保護者・支援者・水グループ総勢114人で猪名川の「せせらぎの水辺」で水生生物を多種類採取。



平成25年7月11日

三田市立藍小学校3年生21人と総勢40人で武庫川の「日出坂洗い堰」で水生生物を多種類採取。

※水と生物多様性の関連を知る。

活動の結果と感想

水グループは、2年間を通じて色々な野外活動をしました。水質検査・バスツアー・水生生物調査・講演会などが実施できました。生命になくってはならない重要な水は、雨として山野に降り河川を流れて海に入ります。この一部が、生活水として活用されています。一人一人が、安全な水を守り、保全するという意識がないと汚れやすい水となります。これからも水資源に恵まれたこの地域を守りたいと思いました。



緑の環境会議

活動目標

緑を知り、緑を育てる



活動内容

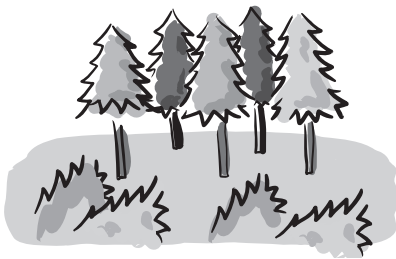
■ 1 年 目

グループ会員のフィールド訪問を中心に活動をして、自然環境問題や緑に関心を持つ現状、希望、夢を確認しあいました。

伊丹市昆虫館見学研修、丸山湿原と県立宝塚西谷の森公園視察研修、宝塚市立地域利用施設西谷会館にて「多世代交流“じばヤング”グループ」とともに、西谷地区まちづくり協議会主催の地域交流会

に参加、武田尾「桜守の会」の里山保全活動に参加、三田市乙原公民館において樹木医・日本オオカミ協会関西地区世話役の田村正一氏を招いて「森・緑と農業と野生生物」をテーマとした講演とグループ活動をしました。

三田市民病院裏土手で、地元住民やボランティア、阪神北地域ビジョン委員会「らぼ・環境実践グループ」と協働で生き物調査と草刈除間伐を実施しました。



■ 2 年 目

三田市民病院裏土手での調査と除間伐作業を、平成25年3月12日、17日、6月16日、10月8日に実施しました。この取り組みは今後も継続し、参加者と一緒に植生の変化を追っていきたいと考えています。

三田市の森を守り育てる市民ボランティア団体『もりんちゅうの会』は、「緑の環境会議グループ」とともに活動をしたことを通じて、単なるボランティア活動からニュータウンの住民と旧住民及び多くの地域環境保全グループとを繋ぐ大きな活動団体に育つことができました。



感想まとめ

今期の活動は第5期の「緑の環境会議グループ」から引き継いだもので、次期第7期もこの流れが継続されることを熱望します。

国、兵庫県の近年の動きは地球温暖化防止、自然保護、森林再生、里山保全へと大きく変わってきています。阪神北県民局においても北摂里山博物館協議会を設立され、これも時代の方向性を表しているものです。



らぼ・環境実践

活動目標

心地良い環境との空間を創造し、人と交流しましょう

活動内容

阪神間で回収した枯れ葉を材料に、ダンボールコンポストにより作った堆肥(ごみ減量活動)を活用した環境保全型農業(ごみを活用した農業)の機会提供。【世界田植え選手権・世界稲刈り選手権】里山をテーマとした環境フォーラムの開催による啓発活動【夢フェスタ】など。

参加者からのコメント

今までになかった世界田植え選手権

私は、今年も世界田植え選手権に参加して地域の方々と一緒にイネを植えました。今回は、地域の小学生や幼児の方と私たち農業クラブのメンバーでペアを組んで協力しながら田植えをしました。はじめ、ペアを組むことは今までに経験上一切なく、一緒に田植えをすると聞いて少し不安になりました。なぜなら、うまく植えることができるのか、思わぬケガをしてしまうのではないかと心配だったからです。しかし、どの子達も進んでイネを植えてくれていました。洗った靴下を男の子のお母さんに渡すと「ありがとう」と言ってくれました。あまりない経験だったのでさらに嬉しくなりました。私はしばらくそんな気持ちに浸っていました。この世界田植え選手権はわたしにとって、地域の方々と協力して老若男女で楽しむことができるイベントだと思っています。もしも田植えに興味の有無関係なしにこのイベントに興味を持ったら、是非参加して後輩達にもこのイベントの良さを伝えてほしいです。

県立有馬高校3年 薛 梨彩



世界田植え選手権

4月にこの学校に入学し、農業クラブの活動が本格的に始まった頃、世界田植え選手権がありました。一人だけ最後まで田植えをしてくれていて、嬉しかったし、今時の子にしては珍しく根性があるなと思いました。僕も、この子を見習って何事にも根性で立ち向かおうと思いました。この体験を通して、僕は様々なことを学びました。稲は植えにくかったです。しかし、様々なことを通して僕は一つ大きくなりました。来年もっと大きくなれるように、子どもとの接し方を学んでいきたいです。

県立有馬高校1年 畑 康博

世界稲刈り選手権

当日は月影幼稚園の園児とその保護者、地域の方々や主催者の方々、そして有馬高校の生徒 原則として幼稚園児一人に対し高校生一人が就き、安全に稲刈りができるようにした。保護者の方にはやり方を教え、個人でやってもらった。幼稚園児の妹や弟も参加している場合があり、特に鎌の扱いには注意した。小さい子供はどのような行動をとるか予想がつかないので、本人やサポートしている私たちがけがをしないように鎌が近くにある状況の時は子供から目を離さないように気を付けた。稲の葉で切ってしまう可能性の大きいので軍手を必ず着用し、肌の露出も控えてもらった。この対策のおかげで葉によるけがは発生しなかった。鎌の使い方を教える時は自分の立ち位置や手の添え方に気を遣い、幼稚園の子供も、私達も安全にできるようにした。昨年のコメを使用し餅つきをした。子どもたちは初めての経験で楽しんでた。私達は照れくさくて進んで餅つきをする人はいなかったが、いざやってみると、意外にもはまってしまい、十分楽しめた。普段の生活では、自分と同じ年齢の人ばかりと一緒に暮らしているので、小さい子どもたちとふれあう機会がなくどのように接したらよいのかわからず戸惑ったが、最後には交流を深められて良かった。今後もこのようなイベントがあればいいなと思った。

県立有馬高校1年 田村 隼人

兵庫県立有馬高等学校 長光 雅美 先生よりコメント

世界田植え選手権・世界稲刈り選手権等の運営に携わるようになり4年目を迎えました。農業クラブの役員を生徒を中心に参加させて頂いていますが、幼稚園児から御年配の方まで多世代の交流を通じて、生徒は指導性社会性を身につけるとてもよい機会となっているように感じます。今後もこの大会がさらに発展することを願っています。

おわりに

当私たちの2年間の活動は終わりますが、この様なお言葉を頂きました。今後も活動の場を広げてまいります。



絆の森プロジェクト

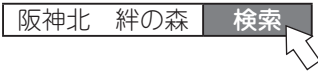
活動目標

絆の森プロジェクトグループのホームページを作成し、阪神北地域で「あなたが会いたいと思う人」や隠れた人財を含めた地域資源を掘り起こし、ホームページで紹介するとともにデータベース化し、観光及び地域活性化に資することを目標とします。

活動内容

- 平成24年9月 **宝塚歌劇元トップスター榛名由梨さんと懇談**
宝塚歌劇及び宝塚市への熱い思いをお聞きました。
- 平成25年2月 **伊丹市 水とみどりのネットワークの会 高見尚子氏**
毎月12日を「イチニ イチニと歩く日」と定め、市民活動として提唱し、水とみどりの「散策道を歩く会」を開催されています。絆の森プロジェクトグループも、2月の歩く会に参加しました。
- 平成25年3月 絆の森プロジェクトグループのホームページ完成
- 平成25年4月 **三田市 三田市郷土文化研究会会員 西田克子氏**
「民話のふるさと三田を歩こう」というテーマで、藍本から相野を歩きながら、民話にまつわるお話をお聞きました。
- 平成25年5月 **川西市 東洋食品工業短期大学 創設者 高碓達之助氏**
全国唯一の食品製造に特化した大学である東洋食品短期大学を訪問し建学精神や創設者 高碓達之助氏(戦後通産大臣として日本経済の復興に尽力した)の食品工業に対する熱い思いをお聞きました。
- 平成25年6月 **宝塚市 砂田耕二郎氏(砂田犬猫病院院長)**
開業されて50年、昔の宝塚温泉街の賑わいや住宅地としての発展ぶり、そして1970年設立メンバーである「宝塚市スポーツ少年団」の結成から今に至る活動をお聞きました。
- 平成25年10月 ①伊丹市 「軍師官兵衛と有岡城」を訪ねる歴史散策と講座を開催。
郷土史家で荒木村重研究会会長の森本啓一氏の講演をお聞きました。
②ホームページのバージョンアップを実施しました。
- 平成25年12月 専門委員の滋野教授(神戸国際大学)よりホームページについて示唆に富んだお話しをお伺いしました。

当グループ ホームページ <http://www.kizunanomori.jp/>
 当グループ フェイスブック <https://ja-jp.facebook.com/kizunanomori.jp>



活動を振り返って（あるメンバーの感想より）

1年目は、ホームページ作成に専念しましたので、ほとんど実践活動はできませんでした。
 2年目は、4市1町すべてを対象に実践活動を計画しましたが、猪名川町には行くことができませんでした。
 ホームページには、当グループのすべての実践活動をアップできましたが、ホームページに対するアクセス数を如何に増やすかという課題が残りました。
 最後に実践活動でお世話になった皆さま、県民局の職員の皆さまにお礼を申し上げます。



ホームページ



三田を歩こう



高碓達之助氏胸像



砂田氏インタビュー



伊丹市内歴史散策



であいたい

活動目標

5期まで続いた「であいたい」グループを継承し、阪神北地域の隠れた自然と文化、歴史を掘り起し、地域の活性化に寄与することを目標にしました。

活動内容

平成25年2月12日(火)

「元宝塚歌劇団員・鳳城ひろき」講演会

場所：宝塚国際文化センター

講師：鳳城 ひろき さん

宝塚の文化の1つである「歌劇」について、元宝塚歌劇団員の鳳城ひろきさんの講演会を行いました。講演では、音楽学校時代の楽しかった思い出や、団員になってからの苦労話を話していただき、来場者の方々に感動を与えました。



平成25年6月5日(水)

「三田の名刹を訪ねて」

妙三寺～心月院～三田ふるさと学習館

心月院案内：清涼山心月院住職 こじま しゅうりゅう 児島 正龍 氏

三田市の名刹を訪ねるツアーを実施。詩人の三好達治が幼年期を過ごした妙三寺と、三田城主であった九鬼一族の菩提寺であり、白洲次郎・正子夫妻が眠る心月院、三田ふるさと学習館を訪問しました。



平成25年8月25日(日)

「歴史講演会」

場所：宝塚国際文化センター・小ホール

講師：なおみや けんいち 直宮 憲一 氏（歴史研究家）

川西市の多田神社を創建した源満仲と戦国武将について、歴史研究家の直宮憲一氏による「歴史講演会」を開催しました。



平成25年10月31日(木)

「清和源氏のルーツを訪ねるバスツアー」

多田神社～東光寺～波豆八幡神社

案内：なおみや けんいち 直宮 憲一 氏（歴史研究家）

多田神社から波豆八幡神社までの清和源氏のルーツを訪ねるバスツアーを行いました。途中の猪名川町では東光寺にも立ち寄り木喰仏を見学しました。ご案内役は歴史研究家の直宮憲一先生にお願いし、参加者の皆さんに北摂の知られざる歴史について学んでいただきました。



活動の振り返り

5期まで続いた「であいたい」グループを継承すべく、有志で立ち上げたのが、昨年の1月からで、かなり時間的にタイトな活動ではありましたが、グループのメンバー4人が良くまとまり、当初の活動目的をほぼ達成できたと思っています。

この「であいたい」グループが次期の7期委員会につながって欲しいと願っています。



シンボルプロジェクト

活動目標

成熟した市民力による地域の活性化と豊かな自然と歴史・文化を活かした地域の魅力の発信

活動内容

～地域見本市の開催～

平成24年度

テーマ：「かがやく阪神北！つながり広げささえあおう♡」

開催日：平成24年11月10日(土)～11月11日(日)

場所：アステ川西（川西市）

内容：パネル展示、ワークショップ、ステージ発表、名産品の物販など
1階の「ぴいぷう広場」では、各種展示やワークショップが、6階の「アステホール」ではステージ発表が行われ、地域の皆さんのパワーを感じることができたイベントとなりました。



展示会場の模様



パネル展示



ステージ発表



ワークショップ

平成25年度

テーマ：「かがやく阪神北！つながり広げささえあおう♡」 ☆ Part2 ☆

開催日：平成25年11月23日(土)

場所：いたみホール(伊丹市)

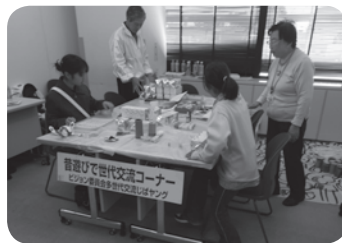
内容：パネル展示、ワークショップなど
3階から6階にわたって、各種展示やワークショップが行われました。地元中学生の協力による「マスコットキャラクター」の展示室巡行や、全展示室を巡る「キーワードラリー」（先着100名にお抹茶とお菓子が振る舞われました）など、新しい試みにも取り組みました。



試食コーナー



マスコットキャラクター巡行



ワークショップ



健康相談コーナー
(管内4市の公立病院合同出展)

活動を振り返って

「地域見本市」とは、地域の愛着を深めるとともに、地域課題に対応する担い手を発掘することを目的とする地域の文化祭的な事業です。

ビジョン委員会の全実践活動グループからのご協力を得ながら、阪神北地域（伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町）が一つにまとまり、地域の魅力を掘り起こし、発表する楽しい機会をつくる、という楽しい活動を行うことができました。

地域夢会議報告

地域の夢（ビジョン）の実現に向けた、県民参加型事業への取り組み

■ 地域夢会議とは

「地域夢会議」は、「地域ビジョン」の実現に向けて、「ビジョン委員」や一般の方々など多様な参加者が集い、地域の課題や将来像について意見交換を行う場です。

【第1回 阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム】

テーマ：「語ろう 思いやりのあるまちづくりを」

開催日：平成25年2月24日(日)

場 所：スワンホール（伊丹市）

参加者：117名

内 容：①「温かいコミュニティをつくるために」と、②「無縁社会を防ぐために」をサブテーマに設定し、住み慣れたまちで安心して生活することや地域でのふれあいをつづけていくために、どんな工夫が必要なのか、小グループに分かれたグループ討議の後、全体会で意見を交換しました。

井戸知事も出席して行われた全体会では、次々と参加者からの発言があり、来賓の藤原伊丹市長も発言されるなど、熱気のコもった会議となりました。



グループ会議



全体会

【第2回 阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム】

テーマ：「語ろう 思いやりのあるまちづくりを」

～声かけを地域の文化とするために～

開催日：平成26年2月8日(土)

場 所：三田市商工会館

内 容：2回目の開催においては、昨年度のテーマをさらに掘り下げ、あいさつをはじめとした日常的な声かけを地域全体で心がけることによって孤立を防ぎ、つながりのある地域社会を築く＝「声かけの文化を地域で築く」にはどうすれば良いのか、を趣旨に開催を企画しました。

しかしながら、開催当日、三田市内が記録的な大雪に見舞われたため、来場者の安全を慮した結果、やむを得ず開催中止となりました。



三田市内は一面の銀世界に

全体活動報告

【阪神南地域・阪神北地域ビジョン委員会による交流会の開催】

- 開催日： 平成25年7月3日(水)
場 所： 西宮市民交流センター
参加者： 23名（阪神南地域ビジョン委員 11名、阪神北地域ビジョン委員 12名）
内 容： 両委員会による各実践活動グループ・部会の活動状況報告。意見交換及び質疑応答。同じ地域ビジョンを共有するビジョン委員会同士、今後とも連携を深めていくことを確認。



【地域魅力発見研修の開催】

◆第1回 平成25年6月26日(水)～阪神北の地域資源を探る～ 参加者：22名

- 内 容： 管内の貴重な地域資源を知るため、「地域魅力発見研修」を企画。猪名川、川西、伊丹のさまざまな地域資源を知ることができ、阪神北地域の魅力について一層の理解を深め、また委員同士のコミュニケーションを図る良い機会となりました。

- 訪問先： ①猪名川悠久の館（精錬所跡などを見学）
②大阪青山歴史文学博物館（幕末動乱期の企画展示等を見学）
③ひょうご都市農業支援センター（阪神地域の都市農業に関する詳しい説明を受けました）
④伊丹郷町館（旧岡田家酒蔵、旧石橋家住宅等を見学）
⑤伊丹子ども文化科学館（最新型のプラネタリウムや展示等を見学）



◆第2回 平成25年9月13日(金)～北摂の里山を訪ねて～ 参加者：23名

- 内 容： 第1回で訪問することができなかった、宝塚市、三田市の地域資源を探ることを目的に、北摂の里山を訪ねました。

- 訪問先： ①宝塚西谷の森公園（公園の歴史と魅力について詳しい説明の後、自由散策）
②西谷夢プラザ（西谷地区の歴史、まちづくりの苦勞、まちの魅力などの説明を受けました）
③佐曾利園芸組合（「ダリア栽培」について、詳しい説明を受けました）
④有馬富士公園（公園の魅力の説明を受けた後、有馬富士自然学習センターを見学）



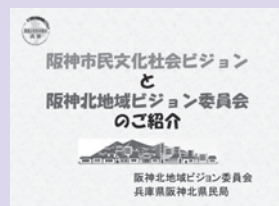
【地域ビジョン委員会紹介映像の作成】

平成26年度に、阪神北地域ビジョン委員会と地域ビジョンである「阪神市民文化社会ビジョン」を説明するため、約10分間の紹介映像を作成しました。

映像は、平成26年11月23日(土)開催の地域見本市において上映したほか、インターネット放送「ひょうごチャンネル」で公開中。(URL等は以下のとおり)

- ◆ひょうごチャンネル：阪神市民文化社会ビジョンと阪神北地域ビジョン委員会のご紹介

<http://hyogoch.jp/channel/programview/id/1107/>



【地域ビジョン指標の策定】

阪神北地域ビジョン委員会及び阪神北県民局では、平成23年10月に改訂した「阪神市民文化社会ビジョン」(以下「地域ビジョン」という。)のフォローアップ指標を策定。

この指標は、地域ビジョンの実現度合いを測る「ものさし」として、また、管内に住む県民の意識やその変化、さらには地域の良さ(強み)、課題を知る基礎データとして活用することが期待されます。

指標は、地域ビジョンの柱である4つの行動目標の中の「主な取り組み方向」に沿って96項目を設定。地域ビジョンに関連する60項目の主観指標と36項目の客観指標で構成。フォローアップ指標の詳細は、兵庫県阪神北県民局のホームページを参照願います。

http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/n_hanshin/vision.html



第6期ビジョン委員会活動年表

主なイベント			実践活動 グループ
開催日	開催場所	開催概要	
平成24年 5月12日	アピアホール (宝塚市)	第1回全体会の開催 ・委嘱状の交付、21世紀兵庫長期ビジョン、阪神市民文化社会ビジョンの説明 ・委員長の選出、副委員長の指名	9グループが活動 ①多世代交流“じばヤング” ②ふれあいと夢の「わ」 ③助け合いの輪 ④水 ⑤みどりの環境会議 ⑥らぼ・環境実践 ⑦絆の森プロジェクト ⑧であいたい ⑨シンボルプロジェクト
平成24年 5月19日 ～20日	阪神北県民局 (宝塚市)	分野別会議の開催 ・5期の実践活動内容の紹介 ・6期における実践活動の方向性の議論	
平成24年 6月3日	阪神北県民局 (宝塚市)	第2回全体会の開催 ・実践活動グループの編成	
平成24年 11月10日 ～11日	アステ川西 (川西市)	地域見本市の開催 ・テーマ「かがやく阪神北！つながり広げささえあおう♡」 ・パネル展示、ワークショップ、ステージ発表など	
平成25年 2月24日	スワンホール (伊丹市)	阪神北地域夢会議の開催 ・テーマ「語ろう 思いやりのあるまちづくりを」 117名参加	
平成25年 3月23日	ぶらざこむ 1 (宝塚市)	第3回全体会の開催 ・勉強会(専門委員による講義)の開催 ・全実践活動グループの活動報告	
平成25年 11月23日	いたみホール (伊丹市)	地域見本市の開催 ・テーマ「かがやく阪神北！つながり広げささえあおう♡」☆Part2☆ ・パネル展示、ワークショップなど	
平成26年 2月8日 ※降雪のため 開催中止	三田市商工会館 (三田市)	阪神北地域夢会議の開催 ・テーマ「語ろう 思いやりのあるまちづくりを」 ～声かけを地域の文化とするために～	
平成26年 3月29日	ぶらざこむ 1 (宝塚市)	第4回全体会の開催 ・全実践活動グループの活動報告	
<p>企画調整部会 【委員長、副委員長、各グループ及び広報部会の代表者・副代表者で構成】 第1回を平成24年7月10日に開催。以後、平成26年2月26日まで原則月1回 計18回開催。</p> <p>夢会議実行委員会(24年度) 【委員長、副委員長、企画調整部会副部会長、広報部会長、各グループからの選出者で構成】 第1回を平成24年9月12日に開催。以後、平成25年1月18日まで7回開催。</p> <p>夢会議実行委員会(25年度) 【委員長、副委員長、企画調整部会副部会長、広報部会長、各グループからの選出者で構成】 第1回を平成25年10月16日に開催。以後、平成25年12月16日まで5回開催。</p> <p>地域見本市企画委員会(25年度のみ) 【シンボルプロジェクトグループ員、広報部会長、各グループからの選出者で構成】 第1回を平成25年4月24日に開催。以後、平成25年9月25日まで6回開催。</p>			

広報部会から

各グループの広報で構成する広報部会は、平成24年7月2日に発足し、以来、21回の会合を持ち、夢じゃーなる24号からまとめの27号までの4号を編集し発行しました。

来期の広報部会では、広報誌の発行のみではなく、広くビジョン委員会の広報について考えていただければと思っています。

広報誌の名称と発行年月

夢じゃーなる24号	2012年10月
夢じゃーなる25号	2013年3月
夢じゃーなる26号	2013年10月
夢じゃーなる27号	2014年3月

① 多世代交流 “しばヤング”

【伊丹市】 井上 常子、井上 裕、今井 成幸、内堀 克子
 【宝塚市】 楠井 誠
 【川西市】 石丸 雄次郎、八木下 榮一、築瀬 繁子、
 行武 為久子
 【三田市】 武田 幸郎（副代表）、藤村 晴彦（代表）、
 渡邊 倫子（副代表）

② ふれあいと夢の「わ」

【伊丹市】 有賀 悦子（副代表）、木村 美恵子、高津 世季子、
 高津 富男、正岡 妙子、正岡 好郎（代表）
 【宝塚市】 加納 茂
 【川西市】 向井 陽子
 【三田市】 吉田 みち
 【猪名川町】 藤田 幸夫
 【西宮市】 西原 静雄

③ 助け合いの輪

【伊丹市】 岡本 忠治（代表）
 【宝塚市】 千秋 良雄
 【三田市】 雑賀 一（副代表）

④ 水

【宝塚市】 井上 章、塗家 昭彦（副代表）、平井 清文
 【川西市】 中本 二郎（代表）、西村 茂
 【猪名川町】 後藤 憲明

⑤ 緑の環境会議

【伊丹市】 河上 仁之
 【宝塚市】 岸 恭子（副代表）、田村 興作
 【三田市】 住 加代子、寺本 祐子、長岡 佐代美、西上 美江、
 二口 力（代表）、増田 和彦、増田 和美、
 吉田 州伸

⑥ らぼ・環境実践

【宝塚市】 森下 靖夫
 【川西市】 波多野 昭治（副代表）
 【三田市】 谷口 昭広（代表）、山本 義則

⑦ 絆の森プロジェクト

【伊丹市】 大山 智之（副代表）、高見 治
 【宝塚市】 井上 健太郎（代表）、佐藤 裕久、春井 美保子、
 平野 浩太郎
 【川西市】 丸橋 保雄

⑧ であいたい

【宝塚市】 今中 光雄（代表）
 【川西市】 前田 俊彰
 【三田市】 今北 のりよ
 【猪名川町】 直井 秀公（副代表）

⑨ シンボルプロジェクト

【宝塚市】 澤 貞次（代表）、庄野 達也
 【三田市】 白石 知子、福田 秀夫
 【池田市】 浅田 信利（副代表）

役員 委員長：内堀 克子 副委員長：八木下 榮一 企画調整部会副会長：武田 幸郎、塗家 昭彦、八木下（兼務）
 広報部会 部会長：森下 靖夫 副部会長：浅田 信利
 部会員：行武 為久子、西原 静雄、向井 陽子、岡本 忠治、平井 清文、増田 和彦、春井 美保子、前田 俊彰

専門委員・アドバイザー・オブザーバー名簿

専門委員

芳田 茂樹 大手前大学 准教授
 武田 重昭 兵庫県立人と自然の博物館研究員(24年度)
 上田 萌子 兵庫県立人と自然の博物館研究員(25年度)
 今井 一郎 関西学院大学大学院 教授
 滋野 英憲 神戸国際大学 教授

アドバイザー

中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館長
 西浦 道雄 兵庫県国際農業者交流協会 会長
 中川 勝子 三田市いずみ会 会長
 住井 一代 第4期阪神北地域ビジョン委員会 委員長

オブザーバー

中畠 秀信 伊丹市 政策室主幹(24年度)
 池田 昌寛 伊丹市 政策室主幹(25年度)
 番庄 伸雄 宝塚市 政策推進課長
 飯田 勲 川西市 経営改革課主幹
 北中 耕作 三田市 企画政策課長(24年度)
 仲井 浩一 三田市 企画政策課長(25年度)
 曾野 光司 猪名川町 企画財政課長

2014年3月

発行：兵庫県阪神北地域ビジョン委員会

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15

阪神北県民局 県民協働室ビジョン課

TEL 0797-83-3119 FAX 0797-86-4379

阪神北 ビジョン 検索